

様式第2号（第8条関係）

審議会等会議録

会議の名称	令和7年度 第2回 加須市通園通学区域審議会
開催日時	令和7年12月17日（水） 午前10時00分から午前11時40分まで
開催場所	加須保健センター 2階会議室
議長氏名	横山 安男 会長
出席委員	横山 安男 会長、大熊 良章 副会長、遠藤 幸夫 委員、駒 俊明 委員、田村 智彦 委員、關 勝 委員、上松 寿明 委員、土屋 一 委員、生田 寿宗 委員、五月女 政司 委員、藤井 信博 委員、山口 由起子 委員、酒巻 克太郎 委員、大井 晋 委員、塚本 直樹 委員、清水 博文 委員（16人）
欠席委員	長谷部 守男 委員、榎本 華 委員、平山 奈津美 委員（3人）
会議次第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 （1）加須南小学校の現状について （2）通学区域の見直しについて （3）その他 4 閉 会
会議資料の名称	<ul style="list-style-type: none"> ・【資料1-1】水深小学校及び加須南小学校における児童数の推移 ・【資料1-2】加須南小学校における児童数の推移（詳細見込み） ・【資料2】加須南小学校 現況図 ・【資料3】通学区域の見直しについて（事務局案） ・【資料4】通学区域図（再編案） ・【資料5-1】水深小学校児童数の推移（見込み）① ・【資料5-2】加須南小学校児童数の推移（見込み）① ・【資料6-1】水深小学校児童数の推移（見込み）② ・【資料6-2】加須南小学校児童数の推移（見込み）② ・【資料7-1】水深小学校児童数の推移（見込み）③ ・【資料7-2】加須南小学校児童数の推移（見込み）③ ・【資料8-1】水深小学校児童数の推移（見込み）④ ・【資料8-2】加須南小学校児童数の推移（見込み）④ ・【資料9】各案の比較

会議の公開又は 非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴者の数	2人
事務局職員職・氏名	学校教育部長 中島高広、学校教育課長 高橋一也、教育総務課長 矢部 良貴、学校教育課主幹 田中崇亮、同課主幹 大沢智紀、同 課主幹 秋山天、同主幹 瀬高央子、同課教育専門員 杉田勝
会議録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録 <input type="checkbox"/> 全文記録
その他必要な事項	

様式第3号（第8条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
事務局	1 開会
事務局	2 会長あいさつ 中島学校教育部長及び横山会長にご挨拶をいただきたい。
中島学校教育部長 横山会長	あいさつ
事務局	以後の議事進行については、横山会長にお願いしたい。
横山会長（議長）	3 議事 (1) 加須南小学校の現状について、事務局から説明をお願いする。
高橋学校教育課長	(資料に基づき説明)
横山会長（議長）	事務局説明を受けて、ご意見、ご質問があればご発言いただきたい。
關委員	<p>加須南小は全学年単学級であり、先生方の目が行き届く良さはあるが、競争心等が出ない。現在、加須南小周辺は空き地もなく急な人口の増加は見込めないだろう。通学区域の見直しによって、加須南小の児童数が増えるのは良いことだと思う。</p> <p>一方で、現在水深小に通っている子をどうするか、通学路をどうするか、兄弟が水深小に通っている場合どうするか、市にはその点も考えていただきたい。</p>
生田委員	1学年1クラスよりも、2クラスあるほうが人間関係が多様になり、子どもたちのためになる。新学区になると南4区の分け方が変わると思うので、さみしさを感じる。PTAの目線からすると、人数が増えるのはありがたい。
大井委員	現在、加須南小の児童数は155名。そのうち下高柳から通っている児童は34名で約20%である。空いている教室は、更衣室などで使用している。
田村委員	加須南小はどのくらい受け入れられるのか。
矢部教育総務課長	教室数から単純計算すると、390名程度までは受け入れられる。

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
横山会長(議長)	(2) 小学校の通学区域の変更について、事務局から説明をお願いする。
高橋学校教育課長	(資料に基づき説明)
横山会長(議長)	事務局説明を受けて、ご意見、ご質問があればご発言いただきたい。
上松委員	水深小の規模をどの程度減らし、南小をどの程度増やすという目標値はあるか。
中島学校教育部長	登下校の安全面を考慮し、学校からの距離を考えて人数を推計している。
大熊副会長	今回通学区域を見直した場合、その通学区域がずっと続くのか。
中島学校教育部長	恒久的に続く予定。
遠藤委員	常泉地区でアンケートを実施した。「加須南小に変更したい」と「水深小のままがよい」がそれぞれ半数ずつの回答であった。その他、中学校区はどうなるのか、在校生は水深小にいけるようにしてほしい、転校を強制することはやめてほしい等の意見があった。
横山会長(議長)	貴重な資料であり検討の材料としてほしい。
土屋委員	水深小の教室の使い方を考えると、多く移動する③の案がよい。通学路を考える必要がある。
藤井委員	中学校と小学校が分断されないようにしたい。保護者としては、変わるのはいいが、ジャージ等備品がどうなるかを含め早く知らせてほしい。
横山会長(議長)	中学校の受け入れは可能か。
塚本委員	昭和中は、現在600名程度在籍している。多いときは800名在籍していたので、受け入れるための余裕はある。
清水委員	加須東中は、多いときで816名在籍しており、現在は403名である。通学区域の見直しがあっても教育活動に大きな影響は出ないだろう。

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
山口委員	環境が変わるときの、こどもの気持ちへの負担が心配。兄弟が別々になると保護者も不安になるだろう。
關委員	令和9年4月までに、通学路の安全確保ができるのか。
中島学校教育部長	こどもの安全を第一に考えている。兄弟関係については、区域の分け方が決まった上で審議していく。令和9年からとしているが、延期する場合もあり得る。通学路については、安全のために必要な整備は進めていく。
生田委員	新入児童が加須南小に変更となった場合、兄弟も加須南小に移動することはできるのか。兄弟と新入児童が別々の学校になる場合、登下校の見守りも二分することが考えられる。
横山会長（議長）	中学校区の変更について事務局から説明をお願いする。
高橋学校教育課長	（資料に基づき説明）
藤井委員	同じ小学校の児童は同じ中学校に進学できるほうがよい。
田村委員	常泉のこどもが昭和中に行く場合の距離やルートはどうなるか。
塚本委員	東中に行く場合と距離はあまり変わらないだろう。ルートは加須南小方面から来ている子と同じように、踏切を越えて通うことになるだろう。
横山会長（議長）	自転車通学をする距離は決まっているのか。
塚本委員	学校から1.5kmより遠いところは自転車通学を許可している。
五月女委員	水深小を卒業したら加須東中に行けるようにしたほうがよい。同じ小学校を卒業した子たちが同じ中学校に入学できるようにするとよい。
横山会長（議長）	新学区に該当する児童生徒への対応について、事務局より説明をお願いする。

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
高橋学校教育課長	(資料に基づき説明)
生田委員	下の子に合わせて、上の子も移動するということも検討しているか。
高橋学校教育課長	想定をしている。様々な状況も想定をして、今後検討していく。
藤井委員	通学区域を見直したときに、自治会やこども会の区分が難しくなるのではないか。
田村委員	通学区域が決まってから対応するものとして別個で考えていく必要がある。新入児童だけが加須南小へ行く場合、登下校は新入児童だけとなるか。
高橋学校教育課長	登下校については、安全面を考慮し様々な方法を考えていく。
酒巻委員	水深小の校長として、本校の課題に合わせて協議していただきありがたく思う。加須南小や水深小、昭和中、加須東中それぞれ魅力がある中で、それぞれの学校が保護者やこどもを惹きつけるような学校経営を進めていく必要があると考える。
横山会長(議長)	(3) その他について事務局より説明をお願いします。
高橋学校教育課長	次回の審議会は1月中旬を予定している。
横山会長(議長)	次回1月を予定しているとのことであるが、日程を早めに決めていただきたい。 以上をもって、本日予定された議事を全て終了する。
事務局	4 閉会
<p>会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。</p> <p>令和7年12月22日</p> <p>署名 <u>横山安男</u></p>	